市長日記 「徳育通信」の活用を

4月1日、本市は市制施行110周年記念式典において「徳育推進のまちづくり宣言」を全国に先駆けて行い、その具体的な取り組みの一つとして「一徳運動」を家庭、学校、地域、団体、企業、職場などで実践していただくことを推奨しています。宣言から約4カ月が経過し、少しずつ取り組みが広がっているようで、大変うれしく思っています。

そんな中、先日、ある方から「徳育は将来にわたって伝え続けていかなければならない大切なことだと思っていますが、実際問題として、一徳運動のように同じことだけを繰り返しやっていたのでは、マンネリ化してしまい、そのうち、なくなってしまうのではないですか?」というご意見をいただきました。

私も同じ徳目の一徳運動の繰り返しではマンネリ化、形骸化してしまうことは否定できないと思います。そこで、私はこの「市長日記」と同じページに掲載している「徳育通信」の活用をお勧めしたいと思います。

徳育について市民の皆さんと話をすると「徳育ノート」を作り、徳育通信を毎号切り抜いて貼り付けています。後で活用できるし、孫たちにも残してあげようと思っているんです」とか、「徳育通信のページをコピーして、市外にいる子どもや孫に毎月送っています」など、徳育通信をいろいろな形で活用されていることをお聞きします。

徳育通信では、今後も徳育に見識のあられる方に執筆をお願いしたり、市民の皆さんからの投稿を掲載したりして、徳育に関するさまざまな話題を提供していきたいと考えていますので、市民の皆さんには、この徳育通信を上手に活用していただき、皆さんの取り組みなどに生かしていただきますようよろしくお願いします。

佐世保市長　朝長　則男

徳育通信⑥ 徳育は楽しい

全国の数ある自治体の中で、「徳育の推進」を掲げた市は寡聞(注1)にして、静岡県の袋井市以外に知らない。佐世保市は朝長市長が選挙のマニフェストに掲げられたものだと伺い、その炯眼(注2)に頭の下がる思いであった。人間関係が希薄になっていく世相の中で、「人と人をどう結び付けるか」「人間関係力をどう身に付けさせるか」は大きな社会問題でもある。人と人との絆のきっかけは、まず、あいさつ。あいさつは一番短い自己紹介だから。

「近頃の子どもはあいさつもできん」と嘆く声をよく聞くが、「大人はあいさつしても黙っている」と不満を言う子どもも多い。大人は子どものあいさつに必ず返事をし、「おお、元気がいいね」と、ほめてやることがまず肝要。あいさつをしない子どもには、大人の方からあいさつして手本を示してほしい。徳育の第一歩である。次に会ったとき、子どもの方からあいさつされたら、こんなにうれしいことはない。

徳育は楽しんでするものであり、実際、楽しいものである。

元佐世保市徳育推進会議アドバイザー
平田　徳男

おはようございます。

(注1)【寡聞】見聞が狭く浅いこと。謙遜していうときの語　(注2)【炯眼】物事をはっきりと見抜く力。鋭い眼力。

歴史散歩　第五六六回

蓮弁反花座付き台座石

●針尾西町　撮影・文●筒井 隆義

針尾西町畦津の観音堂と向き合う形で地蔵堂があり、三界万霊供養のための二基の地蔵尊が鎮座しています。向かって右は明和四(一七四八)年、庵主一畜法師の刻銘があります。

向かって左は、同じ三界万霊塔ながら地蔵尊の風化が著しく、さらに萬と靈が旧字体で書かれており、右の塔よりも百年以上の古さを感じさせます。しかも、台座石の上に、もう一つ、緑泥片岩の台座石が重ねられています。

この緑泥片岩台座石は、三十センチ角で高さ二十センチ、上面中央に複弁十六葉の蓮弁反花座が彫り出されており、一見して身分の高い人のための五輪塔台座(地輪)と思われます。緑泥片岩塔は宝篋印塔を含め、佐世保市内に無数にありますが、筆者が知る限り、これだけ細密な彫刻を施したものは他にありません。

市外では、大村市の例として石造物研究家の大石一久さんが、平成十一年ろうきんブックレットとして刊行された「石が語る中世の社会」の六章に「大村家十六代大村純伊の墓塔と思われる中庵塔」として紹介されているものが、針尾地蔵堂の台座に酷似しています。

ただ、中庵塔は蛇紋岩で、針尾は緑泥片岩とみられます。石質はきわめて上質で、欠損など大きな損傷は見られません。石材の大きさも、崎針尾のお不動さんとして信仰されている五輪塔に匹敵するもので、緑泥片岩が石材として利用され始めた初期のころの作、と想像されます。

針尾瀬戸に面した針尾島の西地区は、この地の豪族針尾氏の拠点で、文治二(一一八六)年銘の滑石製経筒の発見、針尾城跡から数多くの出土品など、その勢力を物語っています。

いよいよ来月に迫った「和牛の祭典 in ながさき」。ハウステンボスに設置されるメーン会場内のステージでは、期間中さまざまなイベントが行われます。本県特産品が当たるじゃんけん大会、和牛〇×クイズや地元アーティストのミニライブ、県内各市町のPRなどを毎日開催し、27日㊏、28日㊐は、トータルテンボスさんをはじめとする人気芸人が出演する「よしもとお笑いステージ」で会場を盛り上げます。また、全国のブランド和牛の試食や長崎和牛のバーベキューのほか、長崎和牛弁当コンテストの入賞作品「阿蘭陀弁当」「長崎べべんこ弁当」も販売される予定です。日本一をかけた和牛の真剣勝負を間近で見て、おいしい和牛を食べ、イベントに参加し、牛の魅力を思う存分楽しめます。来月号では、大会の詳細についてお知らせします!

長崎和牛を試食する親子(7月7日・100日前イベント・島瀬公園)

問農業畜産課　☎24-1111

開催期間 10月25日㊍～29日㊊　メーン会場 ハウステンボス　http://zenkyo-nagasaki.com/

「人の動き」の掲載について

住基法改正に伴うシステムの改修作業のため、8月分の人口と世帯数は、9月分と併せて10月号に掲載します。申し訳ありませんが、ご理解をいただきますようお願いします(市ホームページには8月下旬に掲載予定です)。

問政策経営課　☎24-1111

させぼ市政だより

- テレビ(毎週土曜)
  NBC・NIB→9時25分～30分
  KTN・NCC→11時40分～45分
- ラジオ
  NBC 日曜 9時25分～30分
  FM長崎 火曜 9時5分～10分
  FMさせぼ 火曜10時30分～35分
  日曜 9時30分～35分
- 新　聞
  長崎新聞 毎月第2・4火曜
- ホームページ
  http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/

携帯サイト

おわびと訂正　本紙8月号の28ページに掲載した長崎県発達障害者支援センターの電話番号に誤りがありました。正しくは☎0957-22-1802です。障がい福祉課からおわびして訂正します。